

令和3年12月14日

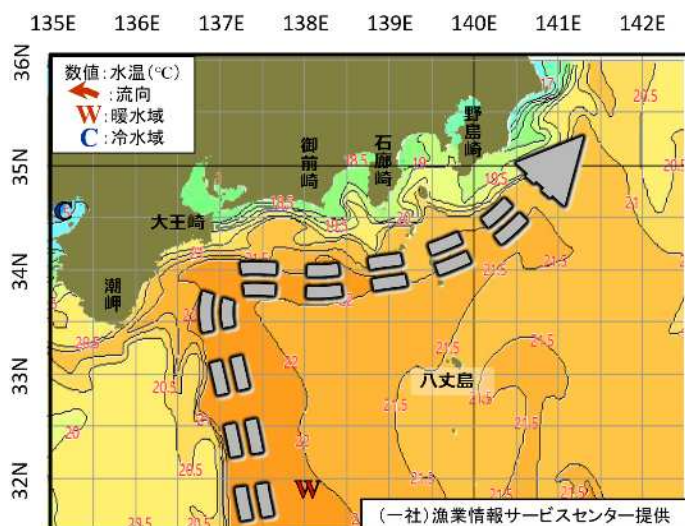
＜黒潮流路＞

12月13日の人工衛星画像によると、黒潮は室戸岬沖から、大王崎沖の北緯29度付近まで南下した後、八丈島の西側を北上して大王崎に接近し、その後沿岸部を房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖の北緯33度以北を通過するAs型となっています。

＜渥美外海の状況＞

現在、ごく沿岸部は低温の沿岸水が分布していますが、黒潮が遠州灘へ接近しているため、沖合は高温傾向となっています。流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬－西之表）の潮位差は低い水準で推移しており、流路の大きな変化はないと思われます。FRA-ROMSの海況予測では、今後、黒潮流路はS字状の流路を通る予測となっています。

12月13日の水温分布と黒潮流路（詳細図）



12月13日の水温分布と黒潮流路（広域図）

